

会員の皆さま新年おめでとうございます。 本年もよろしく願いいたします。

晴天の1月2日、旧友宅に4人が集合。早速、箱根駅伝往路のTV中継を見ながら、「おめでとう！」のキャンパイでスタート。まずは各人の罹病状況報告による競い合い。話題は「年金」「生活保護」へと進み、酔いも手伝い喧々譁々。恒例の10代の思い出話しに戻り、「ところで青山学院はどうなった？」でお開きです。平和であればこそ続けてこられた52回目の正月でした。皆さまのお正月はいかがでしたか？

さて、今年の定期総会から3か月が経過、県支部協20周年目の活動を展開しています。32名全役員留任のもと新年度各担当役員の決定、「会員名簿」送付、年間各種行事への参加登録のお願い等です。特に、総会をまたいでの80歳以上会員450人への「訪問活動」に際しては、忙しいなか長期かつ丁寧に対応いただいた地区担当役員に、改めて感謝を申し上げます。

迎えた2018年、二点について述べさせていただきます。

一つは、次の災害に備えての取り組みです。

昨年末、政府の地震調査委員会が、東日本大震災のような超巨大地震の発生が切迫し、被害は北海道から本州に、との予測を公表。今年に入り関東でも揺れが相次ぎ、先の公表と連動した首都直下型地震への警戒が報じられています。

県支部協は、「切迫」を強く受け止め、会員各人の「自らの備え」と合わせ、地域毎の安否確認連絡体制の早急な確立を目指し、未登録者への対応を強化します。格段のご協力をお願いいたします。

二つ目は政治の問題です。

安倍首相は年頭に、改憲論議の開始を宣言しました。それは今年中に改憲案を国会発議し明年2019年に国民投票を目指すとし、安保法、共謀法などと同様「日程ありき」、異論排除の方針であることは明らかです。

戦争もできる「普通の国」より、戦争しない「特別な国」を追い求めるのは、私たち退職者の会の大切な役割です。安全・安心・自らの生活とそして平和のために行動することです。それは、まず明年夏の参院選で私たちの代弁者、組織内「吉川さおり」議員を三度国会に送り出すことです。そのため本年は現役と一体となり、「吉川さおり」の周知・宣伝の取り組みをおこないます。皆さんの積極的なご支援をお願いします。

会員相互の親睦のため、自らの体調と相談しつつ地区交流会など各種行動への積極的な参加をお待ちしております。この一年が皆さまにとって良い年となることを祈念いたします。